

## 統合国際深海掘削計画 (IODP) 会議報告書

提出年月日： 平成 21 年 3 月 27 日

氏名： 齋藤 実篤

所属 (職名): 独立行政法人海洋研究開発機構 地球内部変動研究センター サブリーダー

会議名	8 <sup>th</sup> IODP Scientific Technology Panel Meeting
期間 (移動を含む)	平成 21 年 3 月 5 日 ~ 平成 21 年 3 月 11 日
用務地 (国・都市)	アメリカ合衆国・ハワイ州・ホノルル
目的	8 <sup>th</sup> IODP Scientific Technology Panel Meetingに参加し、IODPにおける科学計測の諸問題について議論する

### 会議内容及び報告事項

#### 日本からの出席者

(STP 委員) 池原 実 (高知大学)、齋藤 実篤 (海洋研究開発機構)、成瀬 元 (千葉大学)、布浦 拓郎 (海洋研究開発機構)、林 為人 (海洋研究開発機構)

(リエゾン) 河村 裕 (IODP-MI Sapporo)、Jamus Collier (IODP-MI Sapporo)、Moe Kyaw Thu (CDEX)、五十嵐 智秋 (CDEX)、村木 広明 (マリンワークジャパン)

#### 【会議内容】

事前に配布されたアジェンダに従い議事が進行し、全体での議論の他、分科会に分かれた議論を行った。退任委員への感謝を含む、以下の Consensus、Action item を決議した。以下に決議とその概要を列記する。

#### **STP Consensus Statement 0903-01: Use of Magnetic Susceptibility Sonde on IODP Expeditions 320-321**

Expedition 320T で試験計測に成功した Magnetic Susceptibility Sonde (MSS) を IODP Expedition 320-321 (PEAT I-II)の科学目的実現のために導入することを提言。E-mail で OTF の承認を得て実施された。

#### **STP Consensus Statement 0903-02: Establishment of mirror site for CHRONOS and Neptune databases and subscription to electronic sources of information for micropaleontology**

古生物学 QA/QC に資するため、IODP プラットフォーム上での web ベースの古生物データベースとして、古生物学データベース NEPTUNE と CHRONOS (digital taxonomic dictionary) のミラーサイトを構築することを提言する。

#### **STP Consensus Statement 0903-03: STP Tour of the Refurbished D/V JOIDES Resolution**

USIO の支援により STP 会議期間中に半日の JR 船内ツアーが実施された。研究区画の新規設備群は今後の IODP 航海への大きな投資である。古生物ラボと微生物ラボにおけるいくつかの問題点を指摘した。

#### **STP Consensus Statement 0903-04: Suggested modifications to the IODP-MI at sea engineering testing time policy**

IODP-MI によって提案されている「at sea engineering testing policy」を支持する。技術試験の提案段階のみならず、試験結果の報告における STP の関与を要望する。また技術試験提案から船上試験までの期間や技術試験提案者の役目・責任について明記すべきである。

#### **STP Consensus Statement 0903-05: Expedition Measurement Plan Review**

今後の STP 会議において、各 IO は計画されている掘削航海で実施される計測計画について報告し、STP が評価することとする。報告すべき計測計画には、掘削、検層、コアリング手法、サードパーティー

ツール、IODP measurement document に記載されていない各種計測等も含まれる。

#### **STP Consensus Statement 0903-06: Routine sampling for frozen preservation**

凍結試料の保存に関する問題について CDEX、ESO、KCC、USIO のコメントを得た。次回 STP において STP は IODP-MI に対し、FY10 における凍結保存のためのルーチンサンプリングの実施へ向けた IOs と Subsurface Life Task Force による検討状況の報告を要請する。

#### **STP Consensus Statement 0903-07: Drilling in Territorial Waters**

STP は USIO に対し、(微生物学的な新知見によっては知的所有権を主張するであろう国々の)領海内での掘削認可に関連して、これまでに発生した個々の問題について、さらなる情報提供を求める。

#### **STP Consensus Statement 0903-08: Lithology nomenclature**

今後の science party の参照用として、岩相名、区分体系、その定義に関する文献のリストの管理を IODP-MI data manager に求める。各 science party は定義した岩相を適切に明示し、各 IO は expedition 毎に定義された区分体系を IODP-MI data manager と共有することを求める。

#### **STP Consensus Statement 0903-09: Sea-Surface Magnetometer on JR**

STP は IAGA (国際地球電磁気学・超高層物理学協会) の陳情 (JR トランジット時の海上曳航式磁力計による地球磁場測定の継続) を原則として支持する。磁力計の新規調達は当面は実現しないため、調査が進んでいない海域では、expedition 毎にサードパーティーツールによって地球磁場測定を行うことを提案する。

#### **STP Consensus Statement 0903-10: Depth Scale Implementation**

IODP 文書「IODP Depth Scale Terminology」に基づき、IODP のすべての掘削プラットフォームにおいて Depth Scale の共通規格を活用していくべきである。Web site において異なる depth scale やその定義、科学的根拠、IO の一貫した運用等を明示することでコミュニティーへの周知を図るべきである。

#### **STP Consensus Statement 0903-11: Allocation of rig time for static testing and calibration of newly installed wireline heave compensation system**

JR に新規導入された wireline heave compensation system は Expedition 320T において技術試験に成功した。今後 JR とちきゅうで実施される掘削航海において、各サイトで検層実施開始時に試験実施時間を確保することを提言する。この試験は新規 wireline heave compensation system さらなる検量や調整のために必要である。

#### **STP Consensus Statement 0903-12: NanTroSEIZE Riser Drilling and Stage 1 Review**

NanTroSEIZE Stage 2 以降の「ちきゅう」ライザー掘削計画について CDEX より詳細な報告を受けた。次回 STP までに、ちきゅう研究区画の運用状況について CDEX の報告を求める。

#### **STP Consensus Statement 0903-13: EDP Report and White Paper Review**

STP は今後も、特に両ロードマップのリンクを深めるため、EDP との連携を継続する。STP は適切な時期に、EDP が INVEST Steering Committee へ提出する white paper のレビューを行う。

#### **STP Consensus Statement 0903-14: Expedition QA/QC Report**

IOs が作成する expedition 毎の QA/QC レポートは、IODP-MI を通じて STP へ提出され、STP のコメントを付けてから ORTF に送付することを要請する。

#### **STP Consensus Statement 0903-15: Takuro Nunoura**

STP 一同、布浦拓郎委員の貢献に深く感謝する。

STP thanks Takuro Nunoura for his dedicated defense of IODP's efforts to characterize the microfauna of the deep seafloor be they charismatic or not really very interesting at all. He has been an earnest guardian of their right to be counted, classified, measured, picked, probed, assessed, extracted, amplified, reverse transcribed, sequenced, t-RFLPped, and included in metagenomes. He retires from STP with what appears to be an enduring sense that there will be resolution one day, that microbiologists will eventually arrive in a "land of milk and honey", and (to paraphrase Winston Churchill) that IODP will do what is right when they have exhausted all of the alternatives.

**STP Action Item 0903-16: Digital Resources for IODP Platforms**

薄片による鉱物同定、スミアスライドの記載、微古生物分類 (Consensus Statement 0903-02 に含まれないもの) などの各分野における digital reference resources の可用性について、STP は IODP-MI と IO にフィードバックを行う。5月1日までに STP Chair へ提出。

**STP Action Item 0903-17: Expert input for Formation Factor Determination**

「Formation Factor の決定」に関し、STP は IODP-MI と IO にフィードバックを行う。4月1日までに専門家リスト (氏名、所属、email address、専門内容) を作成する。

**STP Action Item 0903-18: Tracking System for STP Recommendations, Consensus Statements, and Action Items**

STP 会議において決議された Recommendations と Consensus Statements の進捗状況と最終結果をトラッキングするシステムを構築する。具体的には STP 会議の agenda item に「Recommendations, Consensus Statements, Action Items のレビュー」を含め、及び詳細を記載したスプレッドシートを作成する。

**STP Action Item 0903-19: Core Recovery and Quality Report to EDP**

コア回収率とコア品質の改善は IODP の科学目的達成のため重要な問題として認識する。STP は今後も EDP や IOs と連携してこの問題の解決に取り組む。EDP からの要請により、コア回収率とコア品質に関するレポートを次回 EDP の 1ヶ月前までに提出する。

**【メンバーの交代】**

今回で布浦委員が退任した。後任として J-DESC が微生物専門家を推薦することが確認された。次回は池原委員が退任予定である。

**【次回会議の開催】**

2009 8/17-20 に韓国済州島で開催されることが仮決定された。また、次々回はオーストラリアで開催することが内定した。

備考	
----	--

**事務局又はJ-DESCへのご要望・コメント等**

特になし